

中東情勢不安によるユーザーの一時的な需要拡大で、
Q1は大幅増益

Q1 Flash



サマリー

シモジマ(以下、同社)は8月7日引け後に2027/3期Q1の決算を発表した。連結売上高は前年同期比21.6%増の18,446百万円となった。連結営業利益は同149.2%増の1,640百万円、経常利益は同121.9%増の1,718百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益(以下、当期純利益)は同119.8%増の1,146百万円となった。中東情勢不安により化成品類に対する市場ニーズが高まり、同社ではそれに対応すべく、できるかぎりの商品供給を続けたことで大幅な増収となった。利益面では、環境配慮型商品をはじめとした当社オリジナル商品の販売が好調であったことにより粗利率が上昇したことに加え、円安および原材料価格の高騰に対し、商品供給を優先する方針のもと価格転嫁を進めたことで、大幅な増益となった。

なお、2027/3期の業績予想については、5月公表の期初予想から変更はない。

■ 販売部門別概要

営業販売部門は、既製品の主力商品の拡販と特注品の受注活動に注力した。また化成品類を中心に需要が拡大したことで大幅な増収。

店舗販売部門は、CRMを活用した新規開拓および既存深耕活動に注力。また、商品供給の不安定化に対応するため、同社の供給力を発揮し、代替品の提案などが奏功し大幅な増収。

通信販売部門は、「シモジマオンラインショップ」の売上高が堅調に推移し、会員数も増加。しかしながら、原材料不足やサプライヤーが影響を受け、一部商品の終売や新規商品の投入遅延が生じた。

■ 商品セグメント別概要

紙製品事業は、とくに食品用袋の需要が堅調であったことにより、連結売上高は2,714百万円(同11.4%増)。

化成品・包装資材事業は、既製品のポリ袋、レジ袋、OPP袋などの化成品をはじめ、全般的に好調。連結売上高は11,728百万円(同26.0%増)。

店舗用品事業は、医療・衛生の分野で必需品となるニトリル手袋などの需要拡大により、連結売上高は4,002百万円(同17.1%増)。

(百万円、%、円)	売上高	YoY	営業利益	YoY	経常利益	YoY	当期利益	YoY	EPS	DPS
FY2024/3	57,794	5.0	3,262	62.2	3,623	51.7	2,372	53.8	101.74	51.00
FY2025/3	60,680	5.0	2,986	-8.5	3,303	-8.8	2,088	-12.0	89.42	54.00
FY2026/3	64,829	6.8	3,456	15.7	3,869	17.1	2,738	31.1	117.12	59.00
FY2027/3 会予	66,000	1.8	3,700	7.0	4,000	3.4	2,600	-5.1	111.16	59.00
FY2026/3 Q1	15,167	4.9	658	18.3	774	35.4	521	42.2	22.32	--
FY2027/3 Q1	18,446	21.6	1,640	149.2	1,718	121.9	1,146	119.8	49.02	--

出所：同社決算説明資料よりSIR作成

注：SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。

アナリスト 大下 敬勇
research@sessapartners.co.jp



本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレーマーをご覧ください。

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp